

兵庫消防

発行所
公益財団法人兵庫県消防協会
神戸市中央区下山手通4丁目16番3号
編集発行人 安満 真哉

就任あいさつ



公益財団法人兵庫県消防協会
会 長 安満 真哉

平素は、本協会の運営に深いご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

また、県下の消防職員、全国最多の約四万人の消防団員の皆さまには、昼夜を分かたず地域の安全と安心のために、献身的な活動にご尽力いただいておりますことに、深い敬意と感謝の誠をささげます。

さて、令和五年五月三十一日、兵庫県消防協会第七代会長の就任いたしました。歴代会長が築いてこられた消防協会の伝統を踏まえ、消防協会はもとより県下各消防団の発展のために誠心誠意その職責を全うする所存でございますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

我々消防団は、「地域のことは地域で守る」との気概を持ち、地域防災の中核として、地域の安全確保に重要な役割を果たしております。近年、災害が複雑多様化する中で、私たち消防団に対する住民の期待は従来にも増して大きくなっていきます。

一方で、消防団員数は年々減少しており、団員確保は大きな課題であります。消防団員の被雇用者化や若者の消防団離れ、高齢化など、消防団を取り巻く環境は厳しさを増しています。各消防団においては、それぞれの地域の実情に合わせて、様々な工夫を凝らしながら、消防団員の確保に取り組む必要があります。

兵庫県消防協会では、「ひょうごの消防団」の活動を広く周知するとともに、消防団活動への県民の関心を高める事業を展開し、より多くの県民の皆さまが消防団活動へ参加、協力をいただけるよう、努めてまいりますので、引き続きご協力をお願い申し上げます。

最後に、県下の消防本部及び消防団の更なるご発展と、会員各位のますますのご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、就任のご挨拶といたします。

令和五年安全功労者内閣総理大臣表彰



安全功労者内閣総理大臣表彰表彰式 岸田総理のご挨拶

二〇二三年
全国統一防火標語
火を消して
不安を消して
つなぐ未来



安全功労者内閣総理大臣表彰は、毎年七月一日を「国民安全の日」とし、「国民の一人ひとりがその生活のあらゆる面において、施設や行動の安全について反省を加え、その安全確保に留意し、これを習慣化する気運を高め、産業災害、交通事故、火災等国民の日常生活の安全を脅かす災害の発生を防止を図る」という趣旨に基づき、行われている表彰です。

授賞式については、七月三日(月)に総理大臣官邸大ホールにて執り行われました。なお、全国の受章者は次のとおりです。(敬称略)

安全功労者内閣総理大臣表彰(消防関係)受章者数

(個人の部)	三名
(団体の部)	三団体

兵庫県下受賞者

○個人の部
加東市婦人防火クラブ会長
友藤富士子



受賞された
加東市婦人防火クラブ友藤富士子会長

令和五年防災功労者

内閣総理大臣表彰

防災功労者内閣総理大臣表彰は、毎年九月一日を「防災の日」とし、日頃から防火思想の普及又は防災体制の整備に尽力し、あるいは災害時における防火活動に顕著な功績のあった個人又は団体を対象として表彰するものです。

授賞式については、九月五日(金)に総理大臣官邸大ホールにて執り行われました。なお、全国の受章者は次のとおりです。(敬称略)

防災功労者内閣総理大臣表彰受章者数

(個人の部)	一名
(団体の部)	三七名

兵庫県下受賞者
○団体の部
福崎町消防団



受賞された福崎町消防団 浅井団長

防災功労者内閣総理大臣表彰岸田総理とともに記念撮影

令和五年春の叙勲 (消防関係) 二四名が受章

令和五年春の叙勲が四月二十九日に発令されました。

叙勲の受章者(消防関係)は、全国で六二二名、うち兵庫県では、元消防吏員・元消防団員併せて二四名が叙勲の栄に浴されました。

受章された方々は、永年にわたり国民の生命、身体及び財産を火災等の災害から防御するとともに、幾多の災害に對して、率先して敢然と立ち向かわれ、地域の安全・安心の確保に尽力されました。また、消防力の強化、充実に努めるとともに、消防の発展に貢献し、社会公共の福祉の増進に寄与されたこと等、これまでの功績により、その榮譽に輝かれました。

今回の叙勲の伝達式は、令和五年五月一日(水)に東京都港区のニッショーホールにて執り行われました。

なお、全国の消防関係受章者数、勲章別内訳及び本県の受章者は次のとおりです。

(敬称略)

(全国消防関係受章者数)

瑞宝小綬章	三七名
旭日双光章	五名
瑞宝双光章	八八名
瑞宝単光章	四九二名
計	六二二名

兵庫県下受章者(消防関係)

◎瑞宝小綬章

元西宮市 消防正監 中島日出男

元尼崎市 消防正監 野草 信次

◎瑞宝双光章

元豊岡市但東消防団 坂岡 政昭

元稲美消防団 桶 剛司

元新温泉町消防団 西岡 安雄

元猪名川町消防団 安井 一弘

◎瑞宝単光章

元姫路市姫路東消防団 井奥 正巳

元川西市消防団 分団長 大向 善信

元朝来市消防団 副団長 奥 義和

元西宮市消防団

副団長 奥村 浩

元姫路市香寺町消防団 副団長 鎌谷 和弘

元上郡町消防団 副団長 日下 秀樹

元加古川市消防団 分団長 黒田 育利

元尼崎市消防団 副団長 杉山 正

元高砂市消防団 分団長 高原 久人

元たつの市消防団 副団長 田口 博文

元香美町消防団 副団長 田淵 正一

元姫路市網干消防団 副団長 玉谷音二郎

元尼崎市消防団 副団長 俵 淳治

元西宮市消防団 分団長 永田 勝樹

元神戸市西消防団 副団長 二星 晴喜

元神戸市北消防団 副団長 松本 安廣

元神戸市北消防団 副団長 盛本 泰生

元西宮市消防団 分団長 山下 秀春

令和五年春の褒章 令和五年四月二十九日に発令

女性防火クラブ員として永年にわたり消防防災活動に献身的に努力し、消防の発展に大きく貢献した方へ授与される藍綬褒章に、兵庫県婦人防火クラブ連絡協議会の岸本正子会長が受章の榮譽に輝きました。

今回の褒章の伝達式は、令和五年五月一日(月)に東京都港区のニッショーホールにて執り行われました。

なお、全国の消防関係受章者数、勲章別内訳及び本県の受章者は次のとおりです。

(敬称略)

(全国消防関係受章者数)

紅綬褒章	一名
黄綬褒章	七名
藍綬褒章	一〇四名

兵庫県下受章者

◎藍綬褒章

現兵庫県婦人防火クラブ連絡協議会 会長 岸本 正子

自転車ヘルメット着用 促進キャンペーンを 実施します!

令和五年四月一日施行の「改正道路交通法」により、自転車を利用する全ての方に、自転車乗車用ヘルメットの着用が努力義務となりました。

本県の着用率は六、二%で、全国平均一三、五%を大きく下回っています。

県では、県警を始め各関係団体の協力を得て、街頭交通安全キャンペーン等による自転車ヘルメット着用啓発に取り組んでいます。ヘルメットの着用はまだまだ進んでいないといえます。

このため、自転車ヘルメットの着用促進に向けて、「自転車ヘルメット購入事業を実施します!」

なお、申請にかかる詳細事項は、専用ウェブサイトをご確認ください。

専用ウェブサイトは、こちら!



知事からのメッセージ
今年4月から全ての自転車利用者のヘルメット着用が努力義務化されました。高齢者や子ども、学生などが巻き込まれる事故が多発する中、ご自身や身近な方の命と安全を守るためにも、ヘルメットの着用をよろしくお願いいたします。

兵庫県知事 齋藤 元彦

神戸市消防局長 渡邊 翔太

神戸市消防局長 道原 紀寛

「ヘルメットを着用しましょう!」

自転車ヘルメットの購入で **4,000円相当のポイント**を還元します

対象者 65歳以上の方、1〜18歳までの子どもとその父か母どちらか一方、学生(19〜20歳までの大学生や専門学校生等)

購入対象日 令和5年10月3日以降(購入日時が令和5年10月3日以降)

申請期間 令和5年12月1日〜令和6年2月上旬(予定。最終上場日に基づきます)

上限給付額 キャンシュレス決済4,000ポイント還元(最大4,000円)

申請方法 専用ウェブサイトからの申請

対象ヘルメット 安全基準を満たした新品の自転車乗車用ヘルメット

URL: <https://safety@kobe-city.go.jp>

お問い合わせ: 自転車ヘルメット購入促進コールセンター TEL: 0120-134-076 受付時間: 9:00〜17:30(土日祝日も対応、年末年始を除く)

第四〇回 危険業務従事者叙勲が 令和五年四月一九日に発令

一三名の兵庫県下元消防職員 の皆様が消防功労関係で受章

叙勲の業に浴された方々は、消防職員として国民の命、身体及び財産を火災等の災害から防御するため、永年にわたり著しく危険性の高い業務に精励するとともに消防力の強化、充実に尽力され、消防の発展に貢献し、社会公共の福祉の増進に寄与されました。

今回の叙勲の伝達式は、令和五年五月一二日(金)に東京都港区のニッショーホールにて執り行われました。

なお全国の消防功労関係受章者数、勲章別内訳及び本県の受章者は次のとおりです。
(敬称略)

(全国消防関係受章者数)

瑞宝双光章 三三六名
瑞宝単光章 二九六名
計 六三二名

兵庫県下受章者(消防功労)

◎瑞宝双光章
元明石市 消防司令長 石生 雅広

元尼崎市

消防司令長 上木 芳男

元姫路市

消防監 大田 亮司

元加古川市

消防監 梶原 政彦

元豊岡市

消防監 田邊 光之

元加古川市

消防司令長 西野 四郎

元三田市

消防監 西山 勝

元神戸市

消防正監 藤本 博

元姫路市

消防監 前田 祐志

元北はりま消防組合

消防司令長 森脇 義和

元芦屋市

消防司令長 吉岡 幸弘

◎瑞宝単光章

元西はりま消防組合

消防司令長 小畑 雅臣

元西宮市

消防司令 坂口 正治

元三木市

消防司令 定 忠司

元川西市

消防司令 佐渡 栄策

元北はりま消防組合

消防司令長 谷 正之

元神戸市

消防監 丹後 利一

元三木市

消防司令 長谷川 秀明

元神戸市

消防司令長 畑田 猛

元西はりま消防組合

消防司令長 松岡 正平

元明石市

消防司令長 宮内日出夫

元美方郡広域事務組合

消防司令 向谷 弘一



消防関係総務大臣表彰式

総務省 消防庁



安全功労者総務大臣表彰 総務大臣とともに記念撮影

令和五年度 安全功労者・消防功労者総務大臣表彰

安全功労者総務大臣表彰は、「安全の思想の普及の徹底又は安全水準の向上のため、各種安全運動、安全のための研究、もしくは教育又は災害の発生防止もしくは被害軽減に尽力し、又は貢献した方々の士気高揚を図る」という目的で、消防職団員以外の個人・団体を受賞対象とし、行っている表彰です。

授賞式については、七月一八日(火)東京霞ヶ関の合同庁舎第二号館地下二階講堂にて執り行われました。

なお、全国の受章者は次のとおりです。
(敬称略)

(全国受章者数)

安全功労者表彰

(個人)

一八名

(団体)

九団体

消防功労者表彰

消防団員

一〇名

女性(婦人) 防火クラブ員

四名

兵庫県下受章者

○安全功労者総務大臣表彰

(個人)

熊野 松代

(団体)

道場町防災福祉コミュニティ
妻鹿婦人防火クラブ
浜田自主防災会

一般社団法人 兵庫県消防設備保守協会



代表受領の妻鹿婦人防火クラブ熊野隊長



松本総務大臣より表彰状を授与される熊野隊長



兵庫県功労者表彰受章者齋藤知事とともに記念撮影



代表受領 宮垣団長



齋藤知事より表彰状を授与される宮垣団長

令和五年 兵庫県功労者表彰式挙行



齋藤知事 挨拶

令和五年五月二十六日(金)、兵庫県公館において、令和五年兵庫県功労者表彰式が挙行されました。

表彰は、二二の功労分野にわたり、二〇九名の方が受賞されました。

そのうち、消防功労では消防関係者六名が受賞され、消防功労の受章者を代表し、豊岡市但東消防団長の宮垣団長

が齋藤知事から表彰状を授与されました。

なお、受章者の方々はこのとおりです。(敬称略)

- 消防功労
- 豊岡市但東消防団 団長 宮垣 博文
 - 西宮市消防団 団長 和田 平雄
 - 前洲本市消防団 団長 中原 章晴
 - 前神戸市消防局 局長 鍵本 敦
 - 前明石市消防局 局長 長谷川 健
 - 前西宮市消防局 局長 松浦 光廣



『自分たちの町は、自分たちで守る』

三田市消防団

豊岡市は兵庫県北部に位置し「円山川」が市の中心を貫流しており、市内の空には、コウノトリが舞っています。

豊岡市の北部に位置する城崎温泉は日本有数の観光温泉地として、全国はもろろん海外からもたくさん観光客が訪れています。

豊岡市城崎消防団(椿野仁司団長)は、一団本部、五分団で構成され、定数一五〇名となっています。車両は、C D I 型消防ポンプ自動車一〇台、可搬ポンプ四台、指揮車一台を配備し、市民はもろろん城崎温泉を訪れる観光客の生活の安全・安心を確保しています。このほかに災害対応以外にも地域内の広報活動等を行い、消防団活動への理解と普及啓発に努め、地域防災の担い手として重要な役割を果たしています。

また、訓練後には慰霊塔への参拝と市内の広報活動を行い、日頃からの防災意識の向上を目指しています。なお、この訓練は新型コロナウイルス禍においても感染症対策を徹底し、継続実施しました。

消防団員として必要な知識・技術の向上を図るため二〇一九年四月から『城崎ファイヤーファイターズアカデミー』

消防団員として必要な知識・技術の向上を図るため二〇一九年四月から『城崎ファイヤーファイターズアカデミー』と称し訓練を実施してきました。基礎的な知識・技術の習得を目的とした「基本訓練クラス」と、上級団員の指揮・教育する上で必要な知識・技術の習得を目的とした「上級クラス」の二つのグループに分けて実施しました。

新型コロナウイルスの影響で各操法訓練大会が中止となる状況の中で、団独自の取り組みにより基礎的なスキルを磨くため大変有意義な訓練となりました。本アカデミーは二〇二二年度で第一段階を終了し、二〇二三年度以降は内容を検討したうえでさらに有意義な訓練内容で実施する予定です。

豊岡市は、区域の大半を山林が占めており、ひとたび山林火災が発生すると予想を上回る範囲で燃え広がる懸念が懸念されます。城崎消防団で

は毎年夏季に訓練を実施していますが、今年は山林火災を想定し市内の展望台で中継放水訓練を行いました。近くに消火栓がないことを想定し、防火水槽からのホース延長、可搬ポンプを山頂まで移動させてからの放水作業など、普段とは異なる手順を確認しました。今後、本訓練で明らかになった課題を団員で共有しながら有事の際に生かしていきたく考えています。

【北但大震災訓練】
一九二五年五月二三日、円山川河口付近を震源とするマグニチュード六・八の地震が発生しました。豊岡市中心部や城崎温泉街では大規模な火災が発生し、旧城崎町では二八三人が亡くなり、城崎は一面焦土と化しました。そのため城崎消防団では、毎年五、六、七の三日に『歴史に学び、伝統を守りつつ、自分たちの町は自分たちで守る』を基本理念として防災訓練を実施してい

【夏季訓練】
豊岡市は、区域の大半を山林が占めており、ひとたび山林火災が発生すると予想を上回る範囲で燃え広がる懸念が懸念されます。城崎消防団で

【最後に】
北但大震災を経験した地域として歴史を学び将来のために備えることが我々消防団の使命であると考えています。今後とも消防団員が地域防災のリーダーとして、市民はもろろん観光客を含んだ安心、安全を確保し、地域防災力の強化を目指していきます。

現在の消防団は団長以下三六六名(令和五年一〇月一日時点)の団員と、消防ポンプ自動車一台、全自動小型動力消防ポンプ付積載車七台、小型動力消防ポンプ付積載車二台、指揮車一台、広報車一台で構成され、日々訓練を重ね、複雑多様化する火災や自然災害から市民の生命と財産を守るため日夜の別なく出動し活躍しています。

『アフターコロナに伴う転換期について』

川西市消防団

兵庫県の南東部に位置する川西市は、市の東部と北部が大阪府と隣接する府県境にあ

は毎年夏季に訓練を実施していますが、今年は山林火災を想定し市内の展望台で中継放水訓練を行いました。近くに消火栓がないことを想定し、防火水槽からのホース延長、可搬ポンプを山頂まで移動させてからの放水作業など、普段とは異なる手順を確認しました。今後、本訓練で明らかになった課題を団員で共有しながら有事の際に生かしていきたく考えています。

地形は南北に細長く伸び、北部は山岳の起伏に富み、その一部は猪名川渓谷県立自然公園に指定されています。川西市消防団は市制施行の昭和二十九年に三〇分団、団長以下総勢六七二名の団員で発足しました。その後、消防の近代化をめざし消防団の再編成を行うとともに、平成五年には女性消防団を設立しまし

と意気込んでいます。しかし、コロナ禍を経て、伝統があり変えてはいけないもの、時代に即して変えなければいけないものがあると感じています。全国的にも少子高齢化や雇用形態・生活様式・社会情勢の変化を受け、新入団員不足や消防団員の負担が増加しているため、消防団のあり方や活動も時代に合わせた柔軟な対応が求められます。

当市消防団では、昨年度末に全団員を対象にアンケートを実施しました。その中には、団活動にやりがいがあり充実しているという前向きな回答も数多くある反面、操法などの訓練や年間行事が負担となっているなどの厳しい意見も多く見られました。そのす

べてを今すぐに改善し不満を解消することは難しいですが、まずはできることから取りかかっています。その中の取り組みとしては、長年更新できていなかった活動服と雨衣を順次更新。また、コロナ禍でも感染症対策を取りながら消防出初式を実施するため、極寒期である一月から四月に屋外で消防式典という形で試行的に実施しました。それに加え、令和五年度に消防団アプリを導入すること

で、消防団員の参集及び情報管理体制の構築と出場記録を一元管理し、位置情報から災害対応時の出場実態や活動時間をシステム上で記録します。また、日々の業務連絡や勤怠情報をシステム上でやり取りすることで、出場報告書を電子化し、消防団員の負担軽減を目指します。

最後に、これからも新しいことを積極的に取り入れて時代に合った消防団として、地域住民の安心・安全を守るため日々精進していきます。

で、消防団員の参集及び情報管理体制の構築と出場記録を一元管理し、位置情報から災害対応時の出場実態や活動時間をシステム上で記録します。また、日々の業務連絡や勤怠情報をシステム上でやり取りすることで、出場報告書を電子化し、消防団員の負担軽減を目指します。

最後に、これからも新しいことを積極的に取り入れて時代に合った消防団として、地域住民の安心・安全を守るため日々精進していきます。



われら若手消防団員

～消防団はヒーローです～



明石市消防団第二分団 藤が丘班 団員 大野 昇平

私は明石市消防団第二分団に所属しています。明石地区の中でもとりわけ西明石駅を中心とした管轄の分団です。日々、精力的に活動しておりますが消防団の世間のイメージは厳しいものと感じており、この事に歯痒い思いをすることも多いです。実際、私も入団するにあたっては躊躇しました。何せどんな集団か分からなかったからです。

しかし、活動している班員がとても楽しそうにしていたことが印象的で入団の決め手となりました。消防団には様々な世代・職種・立場の人が集います。地域防災と



新入団員(研修)



水防訓練



文化財を守る消火訓練の様子

いう志の中で色々な特技経験を持つた人たちの活動は良い刺激となりたくさんの友人ができました。これは消防団に入って一番の宝であり大きな魅力であると思います。活動服を身に纏い出動すれば注目の的になります。何か自分がヒーローにも変身してみたいに。地域の事を良く理解し、各世代の考え方をもち、様々な職種の特技を併せ持つ町の防災集団これが消防団であり、まさに「町のヒーロー」だと思っています。「明るく、楽しく、カッコいい」このヒーローを様々な場面で活躍している消防団員の皆さん！皆さんは間違いなく町のヒーローです。その雄姿を示し続けることで必ず志を同じくする同志が現れると思います。その時は胸を張って自信を持って声を掛けてみませんか? 「消防団、楽しいですよ!」って

わが町の団長さん

「地域のみなさんとともに」

洲本市消防団長

岡澤 伸祐



洲本市は、淡路島の中央部に位置する人口約四万一千人のまちです。市内には白砂青松の大浜海岸や、瀬戸内海国立公園の指定地域である三熊山、成ヶ島もあり、自然豊かな市です。

近年は観光地として人気となっており、洲本温泉や淡路島の食材、写真映えるロケーションを求めて多くの方が訪れています。

また、ドラゴンクエストシリーズの生みの親である堀井雄二氏の出身地で、市民広場には記念碑も建てられています。

洲本市消防団は、本部及び一六の分団で構成されており、その先頭に立つのが、岡澤団長です。団長は平成四年四月に入団以来、分団長、副団長を歴任後、令和五年四月に団長に就任されました。

災害発生時にはいち早く現場に駆けつけ、陣頭指揮をとる行動力に溢れた団長です。新型コロナウイルスの影響により、様々な消防団活動が中止・縮小となっていました。が、団員同士の連携を高めるため、団幹部の意見交換や、各種訓練の再開、団幹部の育成など

に積極的に取り組んでいます。これからの抱負をお聞きすると、「地域住民との連携強化、情報共有に取り組み、協力体制を築き、本市全体の防災機能の向上を目指して活動していきたい。」と熱く話されました。

これからの洲本市消防団にどうぞご期待ください!!

「郷土を守るために」

赤穂市消防団長

中村 裕彦



赤穂市は、元禄一五年、火消し装束を身に纏い、吉良上野介を討ち取った「忠臣蔵のふるさと」として知られています。

赤穂市消防団は、一団本部、一五個分団、団員数六二〇名で構成されています。この消防団を率いるのが、中村団長です。

団長は、「郷土を守りたい」との思いから二四歳で入団以来、四年の永きにわたり消防団員として活躍され、令和五年三月に発生した林野火災

では、団本部として出動され、迅速かつ的確な判断により団員を指揮し被害を最小限に食い止められました。

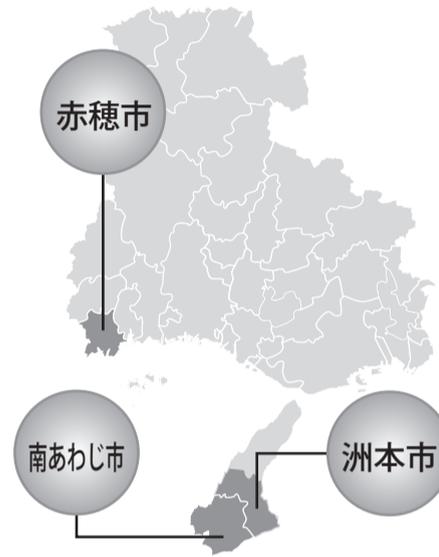
消防団に対する情熱と行動力、そして実績と経験を持って、令和五年四月に第八代赤穂市消防団長に就任されました。着任後、団員確保やコロナ禍での訓練不足の改善を行われ学生消防団員の入団促進活動や全個分団を召集しての水防訓練をさまざま実施し、消防団の育成発展・充実強化に努められています。

温厚で人情味溢れる御人柄ですが、災害現場では、常に冷静で的確な指示を出られるなど行動力に溢れ、赤穂市消防団の発展と安全で安心して暮らせる郷土赤穂を守るために邁進されています。

「第九代団長 藤原 広規」

南あわじ市消防団長

藤原 広規



南あわじ市は兵庫県最南端の市であり、平成一七年一月一日に三原郡緑町、西淡町、三原町、南淡町の四町が合併して誕生しました。

南あわじ市消防団は、この南あわじ市誕生と同時に発足し、四方面隊、五八分団、消防ポンプ自動車二四台、小型動力付積載車八四台、団員数二、一四一人体制で日夜消防活動に精励しています。

『女性の目線から、より良い地域防災を目指して』

兵庫消防団 第六分団

木村由香里、岩田みちる、藤原 綾

私たちは神戸市兵庫消防団第六分団で活動している女性団員です。

分団は二六名中、四名が女性。プライベートでも毎年旅行するほどの仲良しの四名です。

中でも二人は親子団員としても珍しく母と娘で在籍。

二人の入団のきっかけですが、当初は大学生二名の女性団員のみ、団活動の中で災害時の避難所対応、男女併せた避難者を守るのに男性団員ばかりで女性への気配りが不十分。いかに女性目線の女性団員が必要と痛感し、中でも経験豊かな女性の目線も必要と、先ず主婦である母親、続いて会社員であるその娘の入団となりました。今では、学生、主婦、会社員などバラエティ豊か、様々な女性目線で行動を見定め、女性であることを活かして最善を尽くせる団活動を目指しています。

分団の活動の一つに、神戸マラソンの救護活動があります。体調不良のランナーのところへ車椅子を持って駆けつけます。

藤原団長は、平成九年に旧三原町消防団に入団され、平成一九年に分団長、平成二二年には選任分団長(階級副団長)を歴任、この度令和五年四月一日より、南あわじ市消防団第九代団長に就任されました。設備会社の代表という本業の傍ら、市民の安心・安全を第一に考え、熱心に消防団活動に取り組まれる団長のスケジュールは多忙を極めます。

消防団は火災のほか、台風や風水害、行方不明者の捜索等、その活動は多岐にわたります。南海トラフ地震等による大災害にも備えなければなりません。藤原団長は、「団員ひとりひとりが火災や有事の際に、安全に的確な対応ができる」を目標に、日々消防団活動に取り組んでおられます。

温厚な性格で責任感が強く人との和を大切にされる藤原団長は、団員からの信頼も厚く、地域との連携を深めながら、伝統ある「南あわじ市消防団」をより強固な組織へと導いてくれることと期待されています。



編集後記

まだまだ暑さが続いています。皆様いかがお過ごしですか。

今月号では、一面から三面に各種表彰受章された方々を掲載しております。

受章された皆さま誠におめでとうございませう。

また、新会長の安満会長の就任あいさつを掲載させていただきました。お待ちしておりますのでご覧ください。

最後に、今月号も紙面作成にあたり、各地区から多数の寄稿をいただきました。誠にありがとうございます。

夏の疲れが出やすい時期です。体調管理にお気をつけください。



定期訓練での放水